



体験教室「わらぞういを作ろう」

2月5日(日) 13:00~16:00

定員15名 当館3階研修室 参加費無料

申込: 直接窓口、電話でお申込みください。

電話: 歴史資料館 (072-976-3430)

※小学4年生以下は、保護者の付添いが必要です。
先着順で定員になり次第、締切ります。

柏原市立歴史資料館

平成28年度 冬季企画展

ちよつと昔の道具たち

あきな

齧いと ものづくり



月曜休館(祝日は開館)

入館無料

9:30~16:30

大阪府柏原市高井田 1598-1

電話 072-976-3430

JR 大和路線

高井田駅から徒歩約5分

近鉄大阪線

河内国分駅から徒歩約15分

2017年
1月7日 土

▶ 3月5日 日

市民歴史大学 テーマ「古代人のこころ」

定員100名 当館3階研修室 参加費無料
申込不要、当日13時より受付

1月14日(土) 13:30~15:00

山近 久美子 氏 (防衛大学校 教授)

『古代都市とまじないの場 -「願い」はどこからどこへ? -』

2月19日(日) 13:30~15:00

西宮 秀紀 氏 (愛知教育大学 特別教授兼附属図書館長)

『律令制神祇祭祀と大祓』

館長と学ぶ 大和川講座

講師: 安村 俊史 (柏原市立歴史資料館 館長)

定員60名 当館3階研修室 参加費無料
申込不要、当日13時より受付

1月28日(土) 13:30~15:00

『柏原船と大和川』

2月25日(土) 13:30~15:00

『古代水運と大和川』



むかし どうぐ
ちよつと昔の道具たち

あきな

商あきないとものづくり

ものを売ったり買ったりすることを「商あきない」といいます。今のよう
に電子機器でんし ききが広まる前の商あきないや店先みせさきでは、そろばんつがを使ってお金の
計算けいさんをしたり、野菜やさいや魚おもの重さをはかって売り買いしていました。

また、お酒さけ、家具かぐ、洋服ようふくなどをつくっていたお店では、それぞれに
職人しよくにんさんたちがいて、いろいろな道具を使って「ものづくり」をし
ていました。しかし、時代じだいが変わるにつれて、そうしたお店でも、
道具が変わったり、使われなくなった道具がたくさんあります。

ちよつと昔のお店では、どんな道具を使って商あきないや、ものづくりを
していたのでしょうか。お店や、職人さんたちのようすをのぞいて
みましょう。

おもな展示資料てんじしりょう

【商あきないの道具】

そろばん、ぜにます、ぜに箱ぼこ、さおばかり、台だいばかり

【商あきないのきろく】

宿やどで使つかっていた台帳だいちょう、商店しょうてんで使つかっていた台帳

【木綿もめんづくりの道具】

綿わたくり機き、糸車いとくるま、かせ車、はたおり機、しま帳ちよう

【お酒さけづくりの道具】

ふるい、たる、前かけ、とっくり、あっさく機、打だせん機

【職人しよくにんの道具】

かな、ドリル、足踏みミシン、はさみ、ものさし ほか

